

01 難削材加工で半世紀。 精密部品生み出す

有限会社相澤鉄工所

独自の技術



電力会社向けに電線の束を収納する筒状の金属部品を試作した。同部品には高難度の技術を要する内径ローレット加工を採用。筒の内部に凹凸状の加工を施すことで滑り止めの機能を持たせている。

自社の強み



高い耐食性が特徴で原子力関連や化学プラントに使われるハステロイ。治具製作に加え長年の経験で培った切削ノウハウによって難削材の加工を実現している。

今後の展望



売り上げの2～3割を占める商社との業務を拡大するとともに、食品分野のサニタリー部品など新分野進出も目指す。人材採用では繊細な加工能力に秀でる女性登用を積極的に進める考えだ。

有限会社相澤鉄工所

TEL 097-592-0866
MAIL contact@aizawa-tekkosho.co.jp
住所 大分市屋山1860番地
URL http://www.aizawa-tekkosho.co.jp
設立 1968年9月
資本金 1,000万円
従業員 23人



スリーブ内径加工

独自技術の内径ローレット加工で販路広がる

現場の自動化へ

創業50周年を迎えた金属加工会社。ステンレスやチタン、ハステロイなど難削材の加工ができる。直径6ミリメートルの小型部品から化学プラントに使われるような3メートルの大型部品まで手がける。現場の自動化を進めて、女性が活躍できる企業体を目指している。

商社と取引

3年前に顧客開拓の一環で福岡のメーカー商社と取引を始めた。半導体分野の厳しい公差要求に応えられる技術で信頼を積み重ね、現在では売り上げの2～3割を占める得意先に成長した。顧客ごとの単価の見直しや新規開拓によって利益を出せる体制に改善。若返りを図りながら経験の承継を図る。



経営者から
ひとこと
代表取締役
相澤 逸夫さん

加工から組立、耐圧検査まで一貫体制を築いており、発注企業様の負担を軽減できます。これからも付加価値の高い仕事に取り組んでいきます。

●主な設備

縦型旋盤、横中ぐり盤、
CNC旋盤、
立型マシニングセンタ

●主な取引先

旭化成㈱、旭化成メディカル㈱、リックス㈱、
㈱上組、木村化工機㈱、㈱京製メック、
㈱三井E&Sマシナリー 大分工場

航空宇宙分野での実績を持つ。02 配管製作のスペシャリスト

株式会社安達化工機

金属加工



大型品から極小配管まで対応する

自動溶接機で極小の配管溶接も手がける

創業50周年

配管製作を得意とし、半導体工場向けを中心に展開する。創立当初はプラント関係の仕事がメイン。2018年に創業50周年を迎えた実力企業だ。クリーンルームをそなえ、自動溶接機や小型製品用の電解研磨装置などの設備投資に取り組み、高い競争力を持つ。

ステンレスを高品質仕上げ

航空宇宙分野でも実績を重ねる。人工衛星や探査機の打ち上げに使われるH2Aロケット本体への燃料供給用パイプを定期的に受注している。ステンレス材料を厳密な寸法で仕上げる高品質、高性能が売り。航空宇宙分野での実績は採用活動や新規顧客との取引にも貢献している。ベテラン技術者の技を次世代に継承しながら成長を続ける。



経営者から
ひとこと

代表取締役社長
安達 葉史さん

既存取引先の案件だけでなく新規領域への展開も見据えています。人材を大切にしながらベテラン技術者の技術継承に取り組んでいます。

●主な設備

クリーンルーム、帯鋸盤、
自動ガス溶接機

●主な取引先

大陽日酸エンジニアリング(株)、
東横化学(株)

独自の技術



加工現場にクラス10000とクラス30000の清浄度が異なる2種類のクリーンルームを設置している。材料搬入から溶接、組立まで一貫して厳しい条件で製作できる。

自社の強み



化学プラント用の大型品から直径1.6ミリメートル程の極小配管まで対応している。チタンやハステロイなど難削材の加工にも精通、顧客の困り事に幅広く対応する。

今後の展望



主要取引先の半導体業界は波の激しい業界として知られる。長年培ってきた配管製作の技術を生かし、分解・洗浄・組立が容易なサニタリー配管で医薬品・食品業界への参入を目指す。

株式会社安達化工機

TEL 097-521-1215

MAIL Aknet-info@ak-net.co.jp

住所 大分市大字種具字台の上1316-1

URL <http://www.ak-net.co.jp/>

設立 1968年3月

資本金 3,000万円

従業員 36人

03 食品から宇宙まで 幅広い領域に事業展開

株式会社江藤製作所

独自の技術



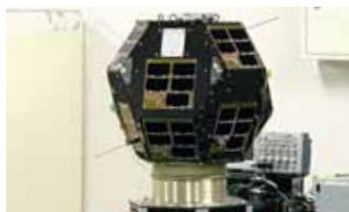
ガス事業法・電気事業法関連設備や各種圧力容器など法規認定を要する構造物を製造する。高い安全性が要求される仕事であり、長年積み重ねてきたノウハウと高い技術力で業界の信頼を得ている。

自社の強み



3事業部門が相互に補完し合いながら事業展開しており、複合的な能力を発揮できる強みがある。さらに大きな案件に対しては、グループ企業全体で対応することもある。

今後の展望



18年10月に打ち上げられた小型環境観測衛星「てんこう」の共同開発プロジェクトに九州工業大学と大分県内企業3社とともに参加した。他分野にも応用可能な加工技術を提供しており、これを確立することで新たな事業展開も視野に入れる。

株式会社江藤製作所

TEL 097-521-1834
MAIL etoss@etoss.co.jp
住所 大分市乙津町4番7号
URL <http://www.etoss.co.jp/>
設立 1973年2月
資本金 4,000万円
従業員 69人



高品質が要求される食品向けタンク

新分野を見据え、航空宇宙関連の規格も取得

3つの柱

ガス・レーザー・プラズマ切断機を駆使し金属の切断加工を行う「溶断事業部」、鋼構造物、機械装置、各種容器等の設計・製作を手掛ける「化工機事業部」、板金加工品から治具・工具、メカトロ製品まで対応する「精密板金塗装事業部」の3事業部を展開。鉄鋼関連から食品・医療・エネルギー・航空宇宙など幅広い業界との取引がある。

大分市に本社を構える江藤酸素(株)の関連会社で、その高い加工技術には定評がある。

航空・宇宙も視野

新規分野の開拓にも積極的で、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の加工技術にも挑戦。2017年には航空宇宙関連のJIS規格「JISQ9100:2016/ISQ9100:2015」の認証も取得した。



働く人の声

化工機事業部
大分工場長
神野 修一さん

大分工場には天井高が25メートルの建屋もあります。大型タンクも現地で組み立てる必要がなく、当社で組み立てて出荷が可能です。

●主な設備

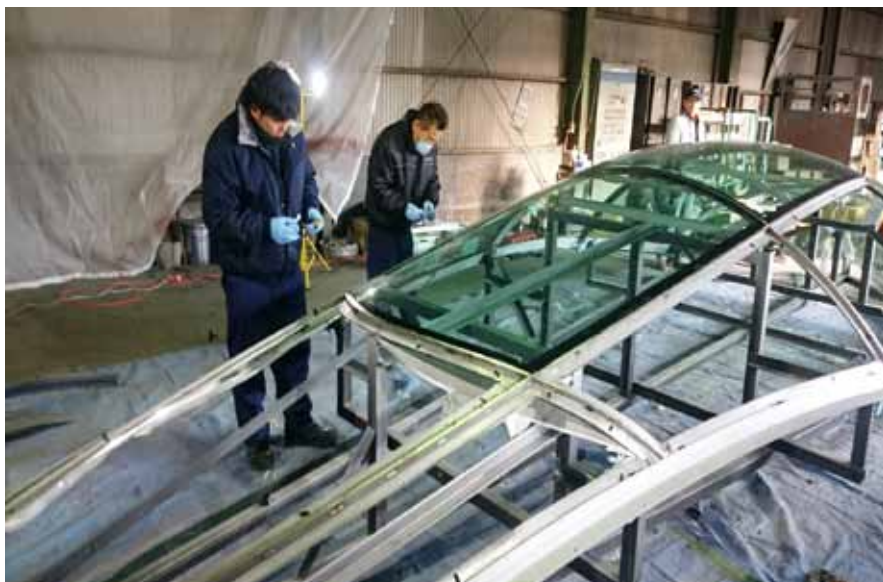
大型レーザー切断機、油圧プレス(500t)、
ファイバーレーザー切断機、
円錐曲げベンディングローラー ほか

●主な取引先

大手エンジニアリング会社、
医薬品関連会社、食品関連会社、
エネルギー関連会社

プレジャーボート向けサッシで高いシェア。 04 提案力、意匠性で支持集める

株式会社大倉



3次元曲げガラスの製作・施工実績もある

一品一品に職人の思い込める

技術を活用

小型船舶、中でも国内のプレジャーボート向け船舶用サッシで高いシェアを誇る。もともとは自動車や店舗のガラスの販売、施工を手がけてきたが、そこで培った技術を活用して船舶サッシ業界に参入した。

他社にないノウハウ

船舶向け窓枠サッシは統一された寸法規格がなく、一品一品、熟練した職人の手によって製作される。水漏れを防ぐなど安全面に対する技術と高い意識が求められる。ガラスメーカーとは50年以上の付き合いがあり、他社にはないガラスの取扱ノウハウがある。また、サッシの製造・販売から出張によるサッシの取付や交換まで自社で手がけている。



働く人の声

製造課長
竹内 誠一さん

難しい注文に対しても社員で話し合っ
て協力し、諦めずにやるのが当社の自慢です。
溶接をするときには気持ちを含めています。

●主な設備

NC付切断機、
ペンディングマシーン、
アルミTIG溶接

●主な取引先

ヤンマー造船(株)、ヤマハ発動機(株)、
官公庁
日本全国の一般造船所50社以上

独自の技術



ガラス製品の施工はボルトを使った取付が困難な上、水漏れの高リスクがある。そこで、当社は自動車ガラスの施工実績を元に、船の特性を考慮しながらメーカーの協力を得て、塩害に強くガラスやサッシとの相性の良いオリジナル接着剤を開発した。

自社の強み



自動車向けや店舗向けガラスを手がけていたため、デザイン性の高いガラスの提案、施工を得意とする。外観が重視されるプレジャーボートの業界では、その提案力や意匠性が高く評価されている。

今後の展望



大手プレジャーボートメーカーに対するサッシの供給シェア率90%以上を維持しつつ、作業船や漁船、官公庁向けなど中型船のサッシ市場の開拓を目指す。

株式会社大倉

TEL 097-551-4128

MAIL senpaku@okura-glass.com

住所 大分市大州浜1丁目5番31号

URL <http://www.okura-glass.com>

設立 1968年

資本金 1,000万円

従業員 43人

05 「技術力と発想力」武器に、 航空機部品も修理加工

株式会社オカモト

独自の技術



工場内は年間を通して気温の差が大きく、金属の状況も変化する。その中で時には、1000分の5ミリメートルの精度を求められることもあり、これにどう応えるかは独自のノウハウがある。

自社の強み



預かった部品の取り扱いに注意が必要なこともあり、大型部品の修理を手がける業者は少ない。同社は「技術力と発想力」とともに、蓄積された経験をデータ化して、これに対応している。

今後の展望



10数年前に新人採用を積極的に進めた効果もあり、現在は社内の若返りが進んだ。熟練の職人も安心して働ける社内環境が整い、技術の伝承がスムーズに進んでいる。

株式会社オカモト

TEL 097-569-5555
MAIL info@okamotomfg.co.jp
住所 大分市下郡工業団地3154-4
URL -
設立 1946年
資本金 1,000万円
従業員 13人



高い精度を実現したシャフト部品

商社通さず、ユーザーらと直接取引

県外中心に取引

県内外の大手プラント会社や造船所、プレス機器メーカーにシャフト部品、クランク軸などを供給している。「当社の設備はどこ鉄工所にもあるもの」という岡本社長。8割以上が県外や海外との直接取引で、商社を通さずユーザーや修理業者と直接取引することが特色。結果としてリードタイムの短縮につながり、低コストでの提供が可能になるという。

航空機で信用得る

同社は米連邦航空局（FAA）や欧州航空安全庁（EASA）が定める航空機の部品修理工場の委託条件を満たしており、日本航空や全日本空輸系列の航空機整備会社から、ボーイング機のランディングギア用ピストンの修理を引き受けている。専任の作業員や専用の承認済検査機器を用意する必要があるが「航空機産業に携わっていることは信用を得るための大きなメリットとなっている」（岡本社長）。



経営者から
ひとこと
代表取締役
岡本 基さん

今ある技術は5～10年後には使えなくなっているかもしれません。常に新しい製品、技術に取り組む事が必要だと思っています。

●主な設備

大型・中型研削盤、大型・中型旋盤、中グリ盤

●主な取引先

昭和電工(株)、(株)三井E&Sマシナリー、(株)神戸製鋼所、(株)日本製鋼所、三菱重工業(株)、日本航空(株)

高硬度の金属加工を武器に、 有力企業と直接取引

06

有限会社共立精巧



製鉄所向け圧延機関連部品

優れた技術を有する企業を承継

商社通さず取引

もともとは商社マンだったという守田社長。5年ほど前、取引先だった共立精巧が廃業を検討していた。

「良い技術を持っているのもったいない」と思っていた守田社長は打診を受け、経営を引き継いだ。

大半が商社を通さない直接取引であるのが同社の特徴。製鉄所向けの圧延機関連の部品や、精錬所で使われる純銅製の部品などを製造する。

新工ネ機器開発

新分野として小風力発電設備の開発に取り組む。街路灯と防犯カメラを搭載した防犯設備としての活用が想定されており、発電網が発達していないアジア諸国での利用が寄せられている。



経営者から
ひとこと

代表取締役
守田 博徳さん

顧客からは基本的な条件提示はありませんが、当社独自の治具やノウハウを活用して金属加工を行います。付加価値の高い仕事をしていきたいと思っています。

●主な設備

テーブル型横中ぐり盤、汎用 NC 旋盤、
立型マシニングセンター

●主な取引先

日鉄住金テクノロジー(株)、(株)岩田鐵工所、
藤井商事(株)

独自の技術



少量多品種の仕事ではなく、大物加工を志向する同社。大型の工作機械を導入しているが、自動化ができない部分も多い。機械に頼るだけでなく、職人の技術を活用する。

自社の強み



硬度が 85 度前後の堅い金属の加工を得意とする。大分県内の企業では珍しいという。建築用鉄筋の圧延ラインで使われる金属の場合、特殊なセラミックス系のチップを使って加工を行う。

今後の展望



「一部の大手企業に依存するのではなく、複数の企業と取引できるようにしたい」という守田社長。従業員のレベルをもう一段階引き上げ、「新たな設備投資を検討したい」としている。

有限会社共立精巧

TEL 097-592-3633

MAIL kyourituseikou@wish.ocn.ne.jp

住所 大分市大分流通業務団地 2 丁目 5 番地 3

URL -

設立 1990年

資本金 300万円

従業員 9人

07 世界が認める穴開け加工の スペシャリスト

株式会社 KYOWA

独自の技術



設立当初から管板の大型化を見込み、大型機械の先行投資を積極的に実施した。メーカーが穴開けの内製を諦め外注に切り替える中、小型から5メートル以上10メートル以下の大型品まで幅広く対応する。

自社の強み



管板と邪マ板は重量の関係上、陸上輸送が難しい場合が多い。当社は埠頭に隣接する立地条件をいかすとともに、300トンクレーンを活用し、世界中への海上輸送を可能としている。

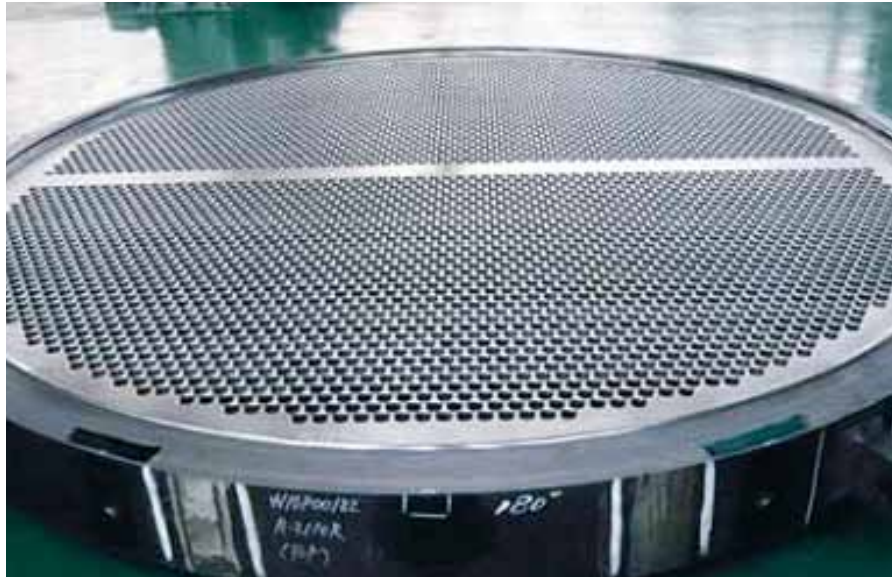
今後の展望



熱交換器はプラント建設において必要不可欠な製品だが、大型プラントの受注は数年単位で景気の波がある。谷間の期間に需要と供給を見ながら穴開け以外の機械加工にも取り組む構えだ。

株式会社 KYOWA

TEL 097-524-2111
MAIL info@kyowa-s.jp
住所 大分市大字日吉原3番地18
URL http://www.kyowa-s.jp
設立 1968年4月
資本金 1,000万円
従業員 30人



穴開け加工を施した熱交換器用部品

熱交換器の重要部品を製作

高度な穴開け技術

産業界や生活に欠かせない熱交換器用の重要部品「管板」と「邪マ板」を製作する。金属板に均等かつ均一に少しの誤差なく穴開け加工を施すのは至難の業。数メートル級の製品では穴の数が数万個単位となることもある。世界でも有数の技術を頼って国内外の名だたる大手企業が直接依頼する。

パートナーとして

導入した機械と職人が使う工具は穴開けに特化した特注品。金属板の硬度など特性を見極めながらノンストップで穴開けする。発注先企業からの認識は下請けではなく「パートナー」。管板と邪マ板製作のオンリーワン技術で、世界のモノづくりを支える。

経営者から ひとこと

代表取締役社長
青山 康夫さん

何千、何万枚もの金属板の穴開け加工実績があります。機械をそろえただけではまねできない経験と実績で、顧客満足度の高い製品を製作いたします。

●主な設備

NC制御ドリルセンター、
BTA深孔明専用機、NC制御立旋盤、
NC制御横フライス中ぐり盤

●主な取引先

国内外の熱交換器メーカー

難度の高い金属加工に挑戦。 県外にも販路開く

08

株式会社三邦



ロール状の金属板を指定長さに切断しロール成型加工

九州トップクラスの生産能力

移転を機に

金属製の屋根材、壁材の加工を主に、建材の卸売りなどを事業とする。2007年に現在地へ移転。4本の製造ラインと金属材料の倉庫を備え、「生産能力は九州地区でもトップクラス」（嶋津社長）と自負する。

公共施設で利用

同社の製造した屋根材はドラッグストアの九州地区の多数の店舗で使われている。また学校の体育館など公共施設でも採用が多く、2019年にオープンする大分スポーツ公園内の県立屋内スポーツ施設にも採用された。

製品品質の裏付けとなる金属製折板屋根構成材のJIS規格「A6514」の認定も受けている。



●主な設備

ロールフォーミング成型機、
天井クレーン

●主な取引先

日本鐵板(株)、大和ハウス工業(株)、
建築板金業者

独自の技術



湾曲した板など特殊な形状の加工を得意とする。ロール状の金属板をローラーの圧力で成型するが、加工する際の位置や幅には独自のノウハウがあり、その蓄積が会社にとっての財産となっている。

自社の強み



顧客の求めに応じて「大手企業でもできないと言われる」（嶋津社長）ような、難度の高い仕事に対応してきた。若手社員にも失敗を恐れずに取り組みよう指導するなど、挑戦の姿勢を貫く。

今後の展望



現在は大分県内向けの仕事が6割を占める。嶋津社長は「九州全域に販路があり、大分で培った技術が県外でも求められるなら、さらに伸ばしたい」と意欲を見せている。

株式会社三邦

TEL 097-593-3222

MAIL sanpou@crest.ocn.ne.jp

住所 大分市大分流通業務団地2丁目7番地1

URL www.sanpou-roof.co.jp

設立 1981年2月

資本金 5,000万円

従業員 25人

09 最新鋭の設備をフル活用。 大物加工に強み

有限会社ツルタ精密

独自の技術



新設した工場に3台の大型マシニングセンタを保有する。いずれも加工寸法が2～3メートルと大物加工に対応しており、多様な鋼材も受注可能な高速回転仕様としている。

自社の強み



「品質と納期には絶対の自信がある」と、鶴田社長。部品の大きさが数メートルに及ぶ加工品は加工部分以外のところに傷を付ける可能性もあるため、細心の注意で取り扱う。

今後の展望



鶴田社長は「将来は組み立てなども含めて装置として受注したい」と話す。半導体関連の取り扱いで技術力には自信を持っており、他の分野にも仕事を広げていきたいと意欲を見せる。

有限会社ツルタ精密

TEL 097-524-1414
MAIL turuta@hyper.ocn.ne.jp
住所 大分市三佐6丁目2番35号
URL -
設立 1999年
資本金 300万円
従業員 4人



最新鋭の工作機械を複数保有する

高速回転仕様・大物加工・五軸加工が特徴

特別仕様

半導体や製鉄、造船などの業界向けにアルミニウムやステンレスなどの各種金属加工を手がける。

先代社長が創業した当時、金型製作を手がける予定で導入した設備の切削部の高速回転仕様が、一般的に加工が難しいとされるアルミニウム加工に適していたことがきっかけであった。その後、他の鋼材も含めて、金属部品等加工分野で発展。これに大物加工の強みとの相乗効果で、高いQCDを実現している。

機械を連携

五軸加工のマシニングセンタなど最新鋭の工作機械を複数保有。機械同士を連携して加工データを蓄積、生産性の向上につなげている。

経営者から
ひとこと
代表取締役
鶴田 薫さん

町工場でこれだけの設備を持っている会社は少ないと思います。取引先のニーズ・環境の変化に合わせて、これからは設備投資をはじめとした「強い会社づくり」をしていきたいです。

●主な設備

門型マシニングセンタ、
立型マシニングセンタ

●主な取引先

半導体製造装置メーカー、
産業機械メーカー

自社製品が国内の製鉄所で活躍。知財戦略にも強み

10

株式会社トライテック

金属加工



大型製品も設計からできるのが強み

国内シェア4割を誇る自社製品。海外展開も視野

製鉄に貢献

売り上げの7割以上を製鉄所向けの工具で占める。高炉出銑ドリルロッド、高温の銑鉄が流れる樋、耐熱・耐摩耗処理など各地の製鉄所で使われる物を独自に開発、施工してきた。

PCバーナー

代表的な製品の 하나가「PCバーナー」と呼ばれる、製鉄所の高炉に補助燃料である微粉炭を吹き込むパイプだ。従来固定式だった物を回転式にすることで設備の損傷を回避することに成功。高炉の安定操業に貢献する。国内の高炉で使われる物としては、シェア4割に達するという。現在台湾やインドでもテスト販売を行っており、海外への広がりも期待されている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
竹崎 博さん

「不可能を可能にする会社」を経営理念に掲げています。顧客の困りごとに耳を傾けて、社員みんなで寄ってたかってアイデアを絞り出す会社です。

●主な設備

3 R 転造機、溶射装置、溶接機、プラスト装置

●主な取引先

国内外大手製鉄メーカー

独自の技術



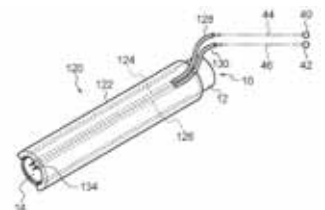
大分県内の中小企業では珍しく、知財課を社内に置く。開発した製品については売り上げが見込めそうなものについてのみ、特許を出願することを基本戦略としている。

自社の強み



金属加工などは社外の協力工場に任せ、他社が持たない設備を自社で保有する。イタリア製のスリーロール転造機、金属にセラミックスの被膜を付けるプラズマ溶射機などが活躍している。

今後の展望



医療分野など新分野の開拓を進めている。その一つとして腹腔鏡手術に使う硬性の内視鏡洗浄装置を開発中。手術時間の大幅な短縮を実現するもので、2年以内の製品化を目指す。

株式会社トライテック

TEL 097-578-6156

MAIL info@trytec.jp

住所 大分市青崎1丁目3番42号

URL http://www.trytec-japan.com/

設立 2005年5月

資本金 1,000万円

従業員 27人

11 ステンレスを自社で一貫加工。 ベテラン社員が貢献

有限会社中野ステンレス

独自の技術



高い技術を要するシンクの製作を得意とする。1枚の板から折り曲げ加工と溶接を行い、R部分はハンマーでたたいて型を整える。加工するときに傷を付けてはいけないという難しさがある。

自社の強み



ほぼ全ての製作を自社で行っている。材料の切断から曲げ加工、溶接、仕上げまでを自社で一貫対応する。小ロット、短納期に対応することで顧客の支持を得ている。

今後の展望



10年以上の経験を持つ社員が多い同社。技術レベルの高さの裏付けでもあるが、「コミュニケーション力のある、若い人を入れたい」と中野社長。提案営業で仕事の領域を拡大したいと意気込む。

有限会社中野ステンレス

TEL 097-521-7161

MAIL nakano_s@movie.ocn.ne.jp

住所 大分市大字三佐2380番地の12

URL <http://nakano-stainless.sunsun-net.com>

設立 1988年11月

資本金 300万円

従業員 7人



学校の階段の手すり

職人のセンスが光る金属加工品

意匠性高い加工

建築関係や装飾金物などのステンレス製品を中心に金属加工を行う事業者。

主に大分県内にオリジナル製品を供給し、フェンスや手すり、門扉、門板、モニュメントなど意匠性の高い加工にも対応。3年前に就任した中野実社長は「意匠品は職人によって癖がある。最終的にはセンス」という。

公共施設の実績

大分空港やJRの駅、水族館などの公共施設の取り扱い実績も多い。近年は旅客用フェリーの手すりなども製作する。

金属切断機や曲げ加工機を保有しており、溶接、研磨なども自社で手がける。



経営者から
ひとこと
代表取締役
中野 実さん

既存先から「新しい仕事をやりませんか」と声をかけられることもあります。外に出て行ける若い人と一緒に仕事の領域を広げていきたいと思っています。

●主な設備

シャーリング切断機、
プレスベンダー加工機、
TIG 溶接機

●主な取引先

ゼネコン、
地場工務店ほか

各種金属の「曲げ」のスペシャリスト。 12 社員の多能工化も推進

有限会社中村設備工業

金属加工



「曲げのスペシャリスト」としてのブランド化をめざす

高速道トンネルのH鋼の取り扱いきっかけに

曲げの専門家

鉄やアルミニウム、ステンレスなど各種鋼材の切断、曲げ加工に特化した専門事業者。当初は鉄鋼会社の構内業務が主だったが、大分県内の高速道路のトンネルに使われるH鋼の加工を手がけたことが現在の事業の転機となった。

300社と取引

「曲げ加工専門の会社は大分県内では当社だけ」（田口社長）ということもあり、大手企業を含めて約 300 社と取引実績がある。

加工した鋼材はエネルギー分野の配管や鉄鋼会社、自動車、航空機などあらゆる分野へ供給。プラント向け鋼材、建築用鋼材のほか、アーケードの角パイプ、ジェットコースターのレールなどとしても使われている。



経営者からひとこと

代表取締役
田口 由香里さん

曲げの専門工場として、スペシャリストがそろっています。顧客から信頼していただける“曲げの中村”としてのブランド化を目指しています。

●主な設備

ベンディングロール、油圧プレス機、パイプベンダー、アングルベンダー、製缶プレス、プレスブレーキ

●主な取引先

新日鐵住金(株)、(株)三井E&S鉄構エンジニアリング、(株)竹中工務店、(株)南日本造船、五洋建設(株)、小野建(株)

独自の技術



10年ほど前から社員2人でペアを組み、2～3年ごとに職務をローテーションする試みを続けている。より多くの機械を取り扱えるようにする「多能工化」が狙いだ。

自社の強み



アタッチメントという曲げの機械を改良し、歪みがでないような工夫を施している。数多くの曲げを経験してきた同社ならではのノウハウを、加工機械にも反映している。

今後の展望



「曲げ」へのこだわりを貫く。勉強のために同業他社の工場へ社員を送り込むこともあるという。現在最大で300トンのプレス機を、将来的には700トン級にまで拡大したい考え。

有限会社中村設備工業

TEL 097-551-3218

MAIL n-taguchi@nakamurasetubi.co.jp

住所 大分市原川1丁目1番16号

URL <https://www.nakamurasetubi.co.jp>

設立 1969年10月

資本金 500万円

従業員 13人

13 電線メーカーの設備製作やメンテナンスに従事。航空宇宙事業にも布石

ニシジマ精機株式会社大分工場

独自の技術



本社工場には30トンのクレーンを備え、造船や製鉄所向けの大物加工の仕事も拡大している。西嶋社長は「設備面でも他社との違いを明確にしていきたい」と意気込む。

自社の強み



自社内で一貫生産ができることが強み。大分工場が稼働したことでメンテナンス事業のノウハウも習得することができた。今後は九州全域でメンテナンス事業を手がけたい考えだ。

今後の展望



18年10月に打ち上げられた小型環境観測衛星「てんこう」の共同開発プロジェクトに九州工業大学と大分県内の企業3社とともに参加した。過酷な宇宙環境に耐える内部構造体の製作に携わった。今後はこの経験を活かし、航空宇宙事業への参入も視野に入れている。

ニシジマ精機株式会社大分工場

TEL 097-569-0316
 MAIL masayuki@nisijima.jp
 住所 大分市大字下郡3182番地の5
 URL http://www.nisijima.jp
 設立 2015年10月
 資本金 1,000万円
 従業員 14人



西日本電線株本社内でメンテナンス業務に従事

大物加工手がける佐伯本社と両輪で成長

M&A

本社は大分県佐伯市にあり、製缶から溶接、加工、組み立てまで幅広く手がける。大分工場は2015年10月、M&A（合併・買収）により他社の事業を引き継いだ事業所。主として西日本電線株本社で電線製造設備や治工具の製作、設備のメンテナンスを手がけている。

豊富な知識

西日本電線株で使われている電線製造ラインの巻取機、引取機、束取機などの製作を担う。以前の会社から引き継いだ人材は電線製造設備に精通しており、機械の修理や改善、材料選定について豊富な知識を有している。中型、大型の物件を取り扱う佐伯本社の特色も生かし、地域のものづくりに貢献する。



経営者から
ひとこと
代表取締役
西嶋 真由企さん

これから10年は人を抱えている会社が勝てると思っています。人を増やし、大切に育てながら佐伯と大分の両輪で事業を拡大していきます。

●主な設備

門型5面加工機、CNC旋盤、ターニングセンター、高速構型マシニングセンター、天井クレーン(30t)

●主な取引先

西日本電線株、三菱重工業株広島製作所、三菱重工業株長崎造船所、株三井E&S マシナリー大分工場、新日鐵住金株大分製鉄所

建設用金属製品の開発・設計、製造から施工・保守まで 一貫対応。防水板(浸水防止用設備)の市場拡大中

14

株式会社日本ピット

金属加工



さまざまな材質、形状のピットを製作する

建物、施設向け金属建材、機械装置でインフラ整備に貢献

ピット製造

建築物向けの金属建材、機械装置を製造・販売する事業者。

市場のニーズを吸い上げ、様々な製品を開発し、世に送り出している。

近年では台風やゲリラ豪雨などの際に建物・施設への浸水を防ぐ浸水防止用設備『防水板』や『津波対策用防水扉』、床開口部から機器を搬出入する際に使用する『マシンハッチ』などを市場に投入した。

防水板

防水板は脱着式、シート式、電動起伏式、スライド式などをラインナップし、全社売上の3割を占めるほどになった。こうした製品は大手企業との競合もあるが、専門性を高め、特許出願を積極的に行うなどし、業界での立ち位置を確固たるものにしている。



経営者から ひとこと

代表取締役社長
浦崎 希さん

社会を豊かにする製品とサービスを提供し続けることが私たちの使命です。常に社会の課題やお客様の悩みに目を配り、金属製品を通じて解決する方法をご提案して行きたいと考えています。

●主な設備

ターレットパンチプレス、プレス機、シャーリング

●主な取引先

大成建設(株)、清水建設(株)、鹿島建設(株)

独自の技術



津波対策用防水扉は大分大学との共同研究を基に製品化した。当初は100%協力企業による生産であったが、現在はQCD向上を図るために、社内人材を育成し、自社生産体制を構築している。

自社の強み



メーカーでありながら20年以上前から施工を手掛けてきた。『施工が確実に終わって初めて製品として100%』『現場を知らずして良い製品はできない』という理念からノウハウを磨いてきた。この施工力が『自ら売り切る力』として大きな武器になっている。

今後の展望



防水板に続く自社開発製品がマシンハッチ。通常は床として使用し、機器の搬入などで開口が必要になった場合に開閉が出来る床ハッチ。大開口部、耐水、耐火、防水など様々な設計条件に対応する。ごみ処理施設や鉄道、道路建設に係る施設などでの使用を想定する。

株式会社日本ピット

TEL 097-568-4141

MAIL soumu@nihon-pit.co.jp

住所 大分市下郡3260番地の9

URL <http://www.nihon-pit.co.jp/>

設立 1973年

資本金 1,365万円

従業員 67人

15 少数精鋭で 難削材加工を手がける

有限会社飛田機械

独自の技術



難削材の代表と言われるステンレスを中心にアルミなど多様な金属加工を手がける。既成工具を独自に加工するとともに、切削条件など、これまで積み重ねてきたノウハウを基に製品を製作する。

自社の強み



省力化を推し進めるため切断工程の自動化など積極的に設備投資を行っている。不良率の低さ、納期の絶対厳守、迅速なアフターフォローなどにより、顧客より支持されている。

今後の展望



主力事業の半導体製造装置部品に続く事業の柱を育てる考えだ。近年、参入したロボット鋳物加工に加えて、市場の拡大が見込まれる医療分野を視野に入れている。

有限会社飛田機械

TEL 097-593-1728
MAIL hida@silk.ocn.ne.jp
住所 大分市久土500-53
URL <https://www.hidakikai.com/>
設立 1988年10月
資本金 300万円
従業員 5人



高精度を要求されるロボット部品加工

ロボット部品加工に参入

半導体での仕事で信頼

2018年に創業30周年を迎えた複雑形状の精密機械部品を主力製品として製造する事業者。約20年前より難削材と言われるステンレスを中心に半導体製造装置部品を手がけ始める。長年の半導体分野の仕事で培った高い加工面品位や品質管理で、近年では搬送用ロボットの部品加工も手がけている。

短納期加工を実現

一昨年、国のものづくり補助金を活用した設備投資をしている。新たにマシニングセンタを新規導入し、治具を工夫することで段取り工程の削減が可能となった。更に治具付け替え時に発生する発注元の精度検査を受ける必要がなくなったため、納期の短縮が可能となり、受注できる製品の幅を広げることとなった。

働く人の声

専務取締役
飛田 邦博さん

少数精鋭の会社で、1+1=2ではなく3になるよう付加価値の高いものづくりを心掛けております。顧客のニーズに柔軟に対応し、改善提案いたします。

●主な設備

横型マシニングセンタ、
立型マシニングセンタ、
NCフライス

●主な取引先

東京エレクトロン九州㈱、
㈱安川電機

鉄筋のユニット化に独自技術。16

ドーム建設で自信

有限会社 ホウザキ

金属加工



棒状の鉄筋を切断、曲げ加工する現場

九州各地で施工実績

毎月2,000トンを加工

建築、土木現場で利用される鉄筋の加工と現場施工を行う。大分県内のほか、九州各地へ出張して対応する。

棒状で仕入れた鉄筋を同社で切断、曲げ加工し、建築現場で使える状態にする。鉄筋は太さも長さもさまざまで、加工量は毎月 2,000 トンに達する。

ビッグプロジェクト

大分県内の公共施設を数多く手がけているが、「後にも先にもこれだけ大きなものはない」（芳崎社長）というのが大分スポーツ公園総合競技場ドームの建設工事だった。工事で使われた鉄筋の重量は1万6,000トン。同社だけで全量を取り扱ったビッグプロジェクトをやり遂げたことが「会社としての大きな自信につながっている」（同）という。



経営者から
ひとこと

代表取締役
芳崎 一郎さん

自然災害の影響もあり、鉄筋の基準は毎年厳しくなっています。目に見えない仕事だからこそ、プロとしての仕事をしていきたいと思っています。

●主な設備

鉄筋自動切断機、鉄筋自動曲装置

●主な取引先

(株)竹中工務店、大成建設(株)、西松建設(株)

独自の技術



建物の主要部分となる柱や梁（はり）などをユニット化することで、現場での組み立て作業の効率化、省力化を実現。高所作業を減らすことができるので、安全性の確保にもつながっている。

自社の強み



発注先からの注文に対して自社なりの図面を作成し、使用する鉄筋の寸法を割り出す必要がある。過去の施工実績に基づいた発想が重視されるため、同社の豊富な実績が大いに役立っている。

今後の展望



取引がある大手ゼネコンから海外での仕事を打診されることもある。「日本の建設技術は世界一」（芳崎社長）という自負があるだけに、機会があればより広い世界での活躍を願う。

有限会社ホウザキ

TEL 097-569-5971

MAIL houzaki@silk.plala.or.jp

住所 大分市大字曲408-1

URL <http://www.houzaki.jp/>

設立 1967年

資本金 300万円

従業員 32人

17 大物部品加工に強み。 一貫生産でさらなる飛躍目指す

株式会社宮地鐵工所

独自の技術



大分市内の三佐工場に大型のMCを3台保有する。近年は製缶から加工まで一貫して手がけることも多くなっており「精度の高い仕事ができる」(宮地社長)と自信を見せる。

自社の強み



先代社長の時代から大物装備部品の加工を志向してきた。県内では大物加工を行える事業者が少ないこともあり、現在も工作機械は高稼働の状態が続いているという。

今後の展望



工程管理システムを新たに導入する準備を進めている。発注登録から工程、進捗状況を即時に把握できるようになる。将来的には大分市内の2工場をこのシステムで連結する考えた。

株式会社宮地鐵工所

TEL 097-522-1651
MAIL ryuhei6262@gmail.com
住所 大分市青崎1丁目12番46号
URL <http://miyaji-ironworks.com>
設立 1978年8月
資本金 1,000万円
従業員 16人



最新の大型マシニングセンタを積極的に導入

最新の工作機械を積極的に導入

積極的に投資

現在の社長の祖父が創業し、法人化後40年の歴史を刻んできた。プラント関係や自動車、半導体などの装置部品を中心に金属加工を手がける。大きさ数メートル四方の大型装置部品を得意とする。

大物部品の加工を行うにはこれに対応する工作機械が必要だが、「設備投資はためらわない」(宮地社長)と、最新のマシニングセンタ(MC)を積極的に導入している。

一貫体制

原則として、製図から工具の選定、製作、検査までを一人の担当者が手がける。生産効率を追求した末にたどり着いた手法で、「工程の無駄を見直し、短納期化につなげたい」(同)と意気込む。

経営者から
ひとこと
代表取締役
宮地 竜平さん

人材育成を進め、ロボットやAI(人工知能)とは対極にある職人を育てていきます。月1回は勉強会を開催しており、技術の底上げを目指しています。

●主な設備

五面加工門型マシニングセンタ、
立型マシニングセンタ、
NC旋盤

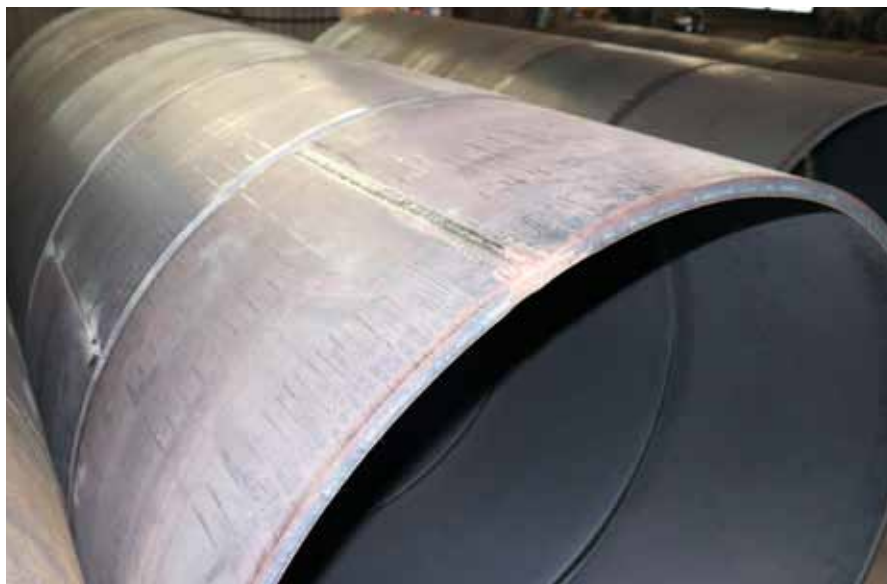
●主な取引先

(株)三井E&Sマシナリー、三造加工(株)、
タカキ製作所(株)、(株)デンケン

“溶接日本一”の技能で 地域に貢献

18

有限会社山順工業



製鉄工程の重要部品を匠の技が支える

地域を代表する技能者として

若手育成

山下社長は34歳の時に溶接技術を競う大会で日本一の栄冠に輝いた実績を持つ。その後、現代の名工に選ばれるなど、地域を代表する溶接技術者として活躍してきた。

近年では全国に先駆けて高校生の溶接技能大会の創設に携わるなど、人材育成の面でも地域をけん引する。

重要部品を加工

新日鐵住金(株)大分製鐵所とは十数年に渡って直接取引を行っている。製品分析工程のくみ取り治具や1,500℃の熔融鉄が流れる円筒管などの溶接を手がける。いずれも製鉄工程の重要部品であり、同社の技術に対する信頼がうかがえる。



経営者から
ひとこと

代表取締役
山下 順一さん

いろいろな賞を頂いてきましたが、その分地域へお返しをしなければと思って活動してきました。私の持っている技術を少しでも伝えていければと思います。

●主な設備

シャーリング、ノコ盤、溶接機(被覆アーク、半自動、TIG)

●主な取引先

新日鐵住金(株)、(株)太豊テクノス

独自の技術



鉄と銅、ステンレスと銅など異種金属の溶接を得意とする。金属によって溶融点が違うため経験と技能が必要だ。「あらゆる溶接をやってきた蓄積がある」と山下社長。

自社の強み



大分県立工科短期大学の客員教授を務めるなど多忙な毎日を過ごす山下社長だが、「納期を守ることが一番大切」と強調する。早朝、深夜の作業もいとわない姿勢で、顧客からの信頼を集める。

今後の展望



山下社長が県内各地の学校や企業で出張指導してきた若手人材が成長している。これらの技能者と仕事を分担する「協力企業のネットワークを形成したい」と思い描く。

有限会社山順工業

TEL 097-567-6401

MAIL yamajun@coda.ocn.ne.jp

住所 大分市大字下郡3207-7

URL -

設立 1988年

資本金 300万円

従業員 3人